

2024 年 10 月 1 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 財務部長 久米 健太郎
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : ir@chorditherapeutics.com

第 86 回日本血液学会学術集会における
CLK 阻害薬 CTX-712 の第 1 相臨床試験に関する演題採択について

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下「Chordia」）は、2024 年 10 月 11 日から 13 日まで国立京都国際会館で開催される第 86 回日本血液学会学術集会において、CLK 阻害薬 CTX-712 の日本国内第 1 相臨床試験の血液がん患者 14 名を対象とした解析結果を発表いたします。当社パイプラインである CLK 阻害薬 CTX-712 について、演題の発表を予定しており、内容は以下の通りです。

<CLK 阻害薬 CTX-712 の発表内容>

抄録番号	30064
時間	2024 年 10 月 11 日 8 時 20 分～9 時 14 分
発表形式	口頭発表 第 5 会場 01-5A-2
演題名	Efficacy and Genetic Analysis for A First-in-Human Phase I Study of CTX-712 in R/R AML/MDS

CTX-712 について

CTX-712 は、細胞増殖に重要な役割を果たす RNA スプライシング反応の主要な制御因子である CDC2 様キナーゼ（CLK）に対するファーストインクラスの選択的な経口型の低分子阻害薬です。現在、米国の第 1 / 2 相臨床試験を実施しています。米国第 1 / 2 相臨床試験の詳細は clinicaltrials.gov/ (NCT05732103)をご参照ください。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 CTX-712 は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。CTX-712 は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの CTX-712、小野薬品工業に導出された MALT1 阻害薬 CTX-177 (ONO-7018) に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chordiatherapeutics.com/>) をご覧ください。